

# 令和元年度 日新小学校の授業はこれだ！！

～わかる・できる・のびる喜びを生み出す授業改善～

導入  
↓

展開前段  
課題追究  
↓

展開後段  
交流・考察  
↓

終末  
↓

家庭学習

◇プレテストの結果等をもとに、できていること、つまずきがどこにあるのかを確かめる。

- ・児童の学習状況を把握し、同じ足場に立って学習を始められるようにする。

\* **子どもが「追究したい」「追究できる」思いを引き出す学習課題を設定するための導入**

- ・本時の問いを受け、活用できそうな既習事項を想起させ、問題解決の見通しをもてるようにする。
- ・課題設定を児童と共に行い、児童の言葉から課題を設定する。

\* **子どもが自分の考えをもてる時間の確保**

- ・個の学習状況に応じた学び方を示し、自分の考えをもてるようにする。
- ・「何がわかったか、何がわからなかったのか」を明確にし、交流によってもっと深めたいという意欲づけを図る。

\* **仲間の考えを尊重し、「はっきりさせたい」「わかりたい」思いをもって交流する場の設定**

- ・仲間の考えと「比べて・つないで・話す（書く）」活動を充実させる。
- ・ハンドサインを用いた意見交流をする。
- ・児童にとって必然性のあるペア交流・グループ交流を設定する。

\* **「できた」「わかった」思いを確かにする終末**

- ・「終末の10分間の充実」を目指し、考えの変化や深化、習得の状況を見届ける。
- ・算数では、評価問題・定着問題・発展問題に取り組みせ、定着を図る。
- ・練習問題を数多く解く時間や本時学んだことを自らの言葉で学びを書きまとめる場を設定し、習得の状況を自ら確かめるようにする。

\* **「より確かになりたい」「もっと学びたい」思いをもつ家庭学習**

◇授業で学んだ内容とかかわりのある家庭学習を提示し、自ら学習する意欲を高める。

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、発達段階と児童自身の課題に対応した家庭学習の内容を具体的に示す。
- ・授業の終わりに、本時取り組むとよい問題や内容を具体的に示す。
- ・弱さの見られる単元や、繰り返して学習が必要な単元は定期的に繰り返して取り組むことができるようにする。